

YAMAHA

GUITAR AMPLIFIER

VR4000 stereo

GUITAR AMPLIFIER

VR6000 stereo

取扱説明書

●ごあいさつ

このたびは、YAMAHAギターアンプリファイアVR4000/VR6000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

VR4000/VR6000は、限りない可能性を秘めた新しいコンセプトのギターアンプです。贅沢なまでのサウンド、信頼性、操作性、機能性、どのファクターも万全です。

優れた性能を十分に発揮させ、長年支障なくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

●特長

★2チャンネル/2モード仕様

2つのチャンネルを持っており、プリアンプからパワーアンプ、スピーカーにいたるまで、独立した設計となっています。このため、AチャンネルとBチャンネルに異なった設定ができます。

また“A or B”と“A and B”の2つのモードがあり、スイッチでモードを切り替えることができます。“A or B”はチャンネルをリアルタイムに選択して動作させるモード、“A and B”は両チャンネルを同時に動作させるモードです。

★ステレオのソースにも対応

ステレオ出力のギターや2本のギターを接続して、両チャンネルに最も適した設定を与えてステレオで鳴らすこともできます。

★個別のチャンネル仕様

A,Bチャンネルのツマミの構成は、異なった仕様になっています。Aチャンネルは1ボリュームタイプのためクリアな音づくりに、Bチャンネルは2ボリューム(ゲインコントロール付)タイプのため歪みをもたせた音づくりに適しています。また、3バンドのトーンコントロールだけでなく、ファットやブライツ機能も両チャンネルに装備されています。

★パラメトリックイコライザー

両チャンネルにパラメトリックイコライザーが装備されており、狙ったポイントを正確に、大胆にブースト/カットできます。

VR6000は、そのうえツインパラメトリックイコライザーです。

★リバーブ&ステレオコーラス

リバーブおよびステレオコーラスを内蔵しています。特にステレオコーラスは、正相と逆相の2コーラス波によって効果を創り出す高品位エフェクトです。

★新開発大口徑スピーカー

スピーカーは、アンプ本体と同時開発のアルミキャップ付大口徑型です。低域から高域まで、パワフルでメリハリのきいたサウンドが特長です。

★デュアルエフェクトループ

エフェクトループ端子をデュアルで装備しています。片方をコーラス回路の前に1イン2アウトのエフェクター対応として、もう片方をコーラス回路の後に2イン2アウト対応として設けています。

★ステレオラインアウト&ステレオヘッドホンジャック

ラインアウトジャック、ヘッドホンジャック共にステレオアウト仕様です。

★フットスイッチ端子を装備

別売のフットスイッチVFC-3を接続すれば、A or Bモードの際のチャンネル選択や、リバーブのON/OFF、コーラスON/OFFのコントロールが足もとでできます。

●目次

ご注意	2
コントロールパネル	3
リアパネル	5
セッティング	6
接続例	7
セッティングサンプル	8
仕様	9
ブロックダイアグラム	10
サービスについて	11

●ご注意

◇次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- ・直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

◇スピーカー等の損傷を防ぐため、接続コードの脱着時や電源のON/OFF時には、VOLUMEを必ず反時計方向に回し、音量を絞ってください。

◇電源は必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続してください。

◇ヒューズ交換の際には、必ず当社規定のものをご用意ください。

◇リアパネルのAC OUTLETは250Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器には使用しないでください。


◇物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。

◇安全のため落雷の恐れのある時は、電源コンセントから電源プラグを抜き取ってください。

◇雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離してご使用ください。

◇故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造しないようにしてください。

~~~~~

 これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

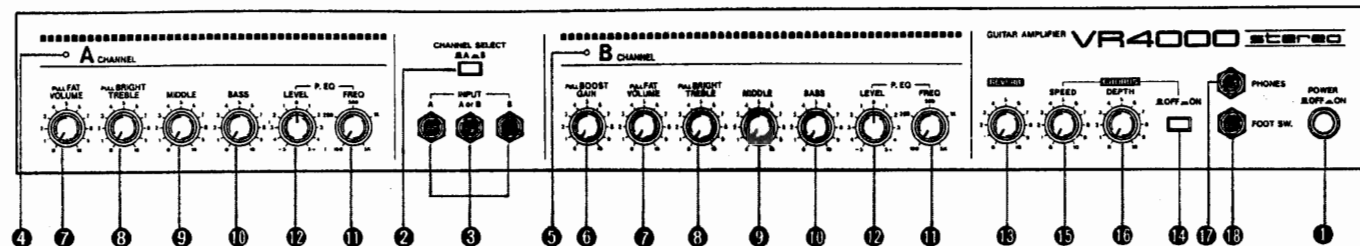
**音楽を楽しむエチケット**

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を開めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

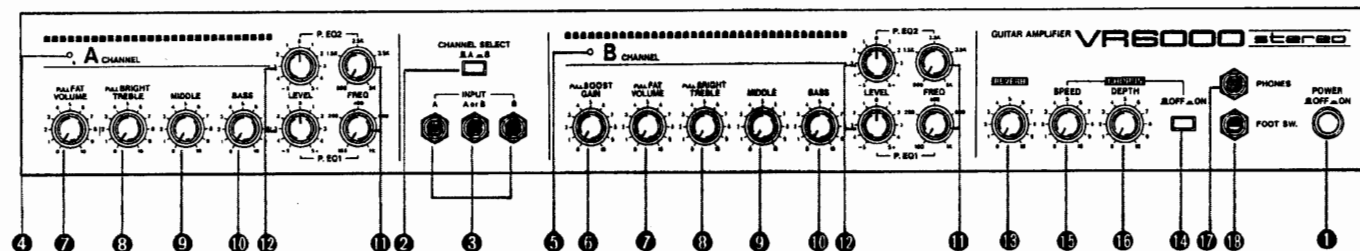
~~~~~

●コントロールパネル

・VR4000



・VR6000



①POWERスイッチ

電源スイッチです。

②CHANNEL SELECTスイッチ

本機をA or Bモードにした時のみ使用するスイッチです。スイッチ「■」の状態にするとAチャンネルのみ動作し、スイッチ「■」の状態にするとBチャンネルのみ動作します。なおスイッチの切り替えに応じて、Aチャンネルインジケーター④およびBチャンネルインジケーター⑤が点灯します。

※6ページのセッティングの項をご参照ください。
※フットスイッチでも切り替えが可能です。フットスイッチを接続すると、このCHANNEL SELECTスイッチは働かなくなります。

③INPUTジャック

エレキギターを接続するための端子です。詳しくは、6ページのセッティングの項をご覧ください。

④Aチャンネルインジケーター

⑤Bチャンネルインジケーター

動作状態にあるチャンネルのインジケーターが点灯します。

⑥GAINコントロール(PULL BOOSTスイッチ付)

Bチャンネルにのみ設けられたつまみで、Bチャンネルのディストーションの質感(音の歪み具合)を決めることができます。

つまみを「10」側に回すほど、Bチャンネルのゲインが上がり音量が上がると共に、ディストーション

のかかりが強くなります。またつまみを手前に引くと、ブースト機能がONされて、ディストーションのかかりがさらに強くなります。

Bチャンネルの音の歪み具合および音量は、このつまみと⑦のVOLUMEコントロールの設定関係によって決まります。基本的に設定は、まずこのつまみで歪み具合を調整した後、VOLUMEコントロールで音量を調整します。

※このつまみを「0」の位置まで下げると、Bチャンネルの音が出なくなります。

⑦ VOLUMEコントロール(PULL FATスイッチ付)

音量をコントロールするツマミです。なお、ツマミを手前に引くと、ファット機能がONされて中域が強調され、腰のある太い音になります。

⑧ TREBLEコントロール(PULL BRIGHTスイッチ付)

高域のレベルをコントロールするツマミです。なお、ツマミを手前に引くと、ブライツ機能がONされて高域が強調され、明るい音になります。

⑨ MIDDLEコントロール

中域のレベルをコントロールするツマミです。

⑩ BASSコントロール

低域のレベルをコントロールするツマミです。

※③～⑩の各コントロールのツマミを“5”の位置にすると、ノーマルなサウンドになります。また、③～⑩のツマミを全て“0”の位置まで下げると、音が出なくなります。

⑪ P.EQ FREQコントロール

パラメトリックイコライザー効果の周波数ポイントをコントロールするツマミで、設定した周波数を中心にイコライジングできます。

・VR4000

100Hz～5kHzの範囲で設定できます。

・VR6000

ツインパラメトリックイコライザーとなっているため、P.EQ 1とP.EQ 2では可変範囲が異なります。2ポイントのイコライジングが可能です。

P. EQ 1 : 100Hz～1 kHzの範囲で設定できます。

P. EQ 2 : 800Hz～5 kHzの範囲で設定できます。

⑫ P.EQ LEVELコントロール

⑪のP.EQ FREQコントロールで設定した周波数ポイントを中心にして、最大±15dBの範囲でブーストまたはカットできます。

なお、イコライジングを必要としない場合には、ツマミを“0”の位置にしてください。

⑬ REVERBコントロール

本機内蔵のリバーブによる残響効果の強さを、Aチャンネル、Bチャンネルまとめてコントロールするツマミです。

なお、リバーブを必要としない場合には、ツマミを“0”の位置にしてください。

※フットスイッチを接続すれば、足もとでリバーブ効果をON/OFFできます。

⑭ CHORUSスイッチ

本機内蔵のステレオコーラスによるコーラス効果を、Aチャンネル、BチャンネルまとめてON/OFFするスイッチです。

※フットスイッチでも、コーラス効果をON/OFFすることが可能です。フットスイッチを接続すると、このCHORUSスイッチは働かなくなります。

⑮ CHORUS SPEEDコントロール

コーラス効果の揺れの速さを、Aチャンネル、Bチャンネルまとめてコントロールするツマミです。

⑯ CHORUS DEPTHコントロール

コーラス効果の強さ(深さ)を、Aチャンネル、Bチャンネルまとめてコントロールするツマミです。

なお、このツマミを“0”の位置にしておいても、コーラス効果がかかります。コーラス効果をかけたくない時は、⑭のCHORUSスイッチをOFF“■”の状態にしてください。

⑰ PHONESジャック

ヘッドホンを接続する端子です。8Ω～150Ω程度のステレオヘッドホンをご使用ください。ヘッドホンの左スピーカーではLINE OUT Lジャックから出力される信号と同じものを、右スピーカーではLINE OUT Rジャックから出力される信号と同じものをモニターできます。

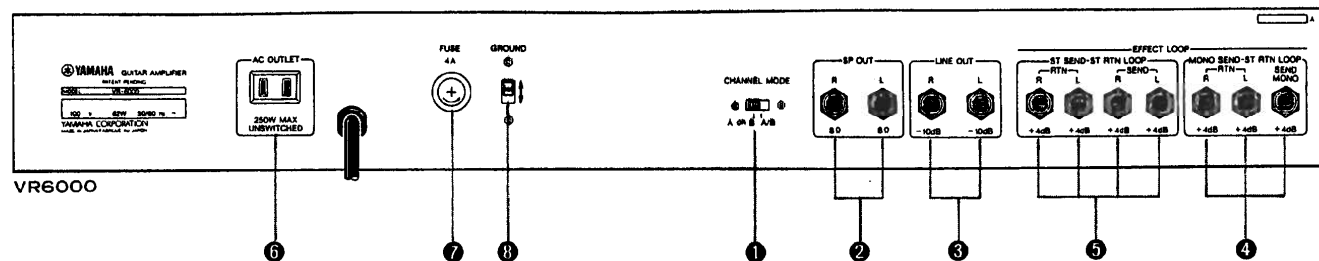
なおヘッドホンを接続しても、スピーカーからも音が出ます。スピーカーの音を切りたい時は、リアパネルのSP OUTジャックに接続されているスピーカーのプラグを抜いてください。

⑱ FOOT SW.ジャック

別売のフットスイッチVFC-3を接続する端子です。VFC-3を接続すれば、足もとでA、Bチャンネルの選択、リバーブ効果のON/OFF、コーラス効果のON/OFFが可能になります。

※フットスイッチはVFC-3をご使用ください。他のスイッチを使用すると故障の原因となることがあります。ご注意ください。

● リアパネル



① CHANNEL MODEスイッチ

本機をA or B, A and Bモードのどちらで動作させるかを選択できます。A or Bモードはどちらか片方のチャンネルのみ動作させるモード、A and Bモードは両チャンネル共動作させるモードです。スイッチの切り替えは、本機のPOWERスイッチをOFFにした状態で行ってください。

※ 6ページのセッティングの項をご参照ください。

② SP OUTジャック

L, Rの各ジャックに内蔵スピーカーがそれぞれ接続されていますが、必要に応じ内蔵スピーカーを外して、外部スピーカーを接続することができます。その場合、外部スピーカーは、システムインピーダンスが8Ωで、本機の出力に充分対応できる許容入力を持ったものにしてください。

③ LINE OUTジャック

ミキサーやパワーアンプなどを接続する増設用の端子です。ここからは、内蔵の各スピーカーに送られる音と同じものがそれぞれ出力されます。本機内蔵のコラスや外部エフェクターによって、ステレオ感がつけられ出力されます。

規定出力レベルは-10dBです。

④ MONO SEND-ST RTN LOOPジャック

1イン2アウト仕様の外部エフェクターを挿入するための端子です。RTN端子にプラグを差し込むと、内部回路が切れてエフェクターからの信号が入力されるしくみです。

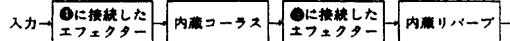
規定出力レベルおよび規定入力レベルは+4dBです。

⑤ ST SEND-ST RTN LOOPジャック

2イン2アウト仕様の外部エフェクターを挿入するための端子です。RTN端子にプラグを差し込むと、内部回路が切れてエフェクターからの信号が入力されるしくみです。

規定出力レベルおよび規定入力レベルは+4dBです。

※本機内蔵の効果と外部エフェクターの順序関係は次のとおりです。ただし、L, Rの関係は省略しますので、詳しくは10ページのブロックダイアグラムをご覧ください。



⑥ AC OUTLET(UNSWITCHED)

非連動式のACコンセントです。消費電力250W以下の機器に使用できます。

⑦ FUSE

ヒューズ交換の際には電源プラグをコンセントから抜いた後、規定のものと交換してください。なお交換してもすぐに切れてしまう場合には故障が考えられますので、お買い上げ店もしくは最寄りのサービスセンターにご相談ください。

⑧ GROUNDスイッチ

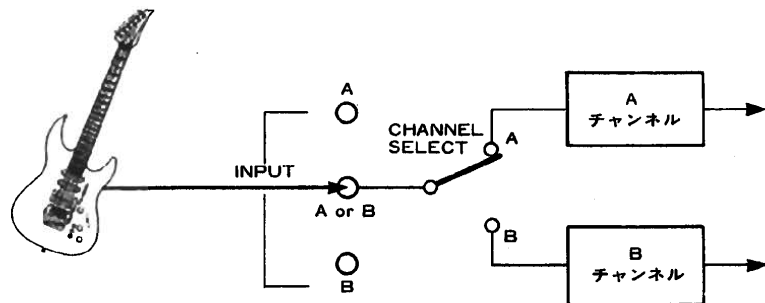
AC電源のアースの極性を切り替えるスイッチです。ハムや雑音が大きき場合には、逆のポジションに切り替えるとこれらが軽減することがあります。

●セッティング

接続するギターの種類や本数, A, Bチャンネルの使い方により、接続方法やスイッチ設定が異なります。ここでは、いくつかのセッティングを掲げて説明します。

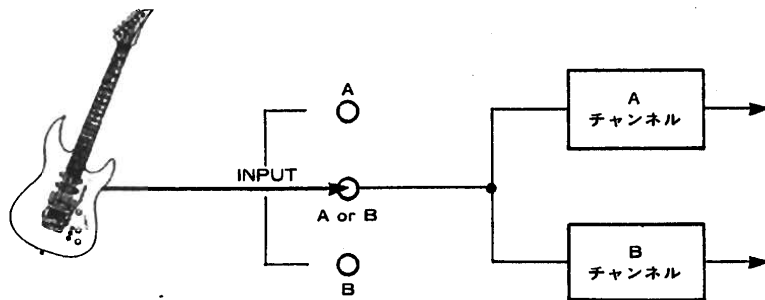
- ◆モノラル出力のギターを1本だけ接続し、チャンネル選択して鳴らす場合

- ・ギター: INPUTジャックの“A or B”に接続
- ・CHANNEL MODEスイッチ: “A or B”ポジションに設定(リアパネルにあります。)
- ・CHANNEL SELECTスイッチ: 曲中の希望するタイミングで切り替え



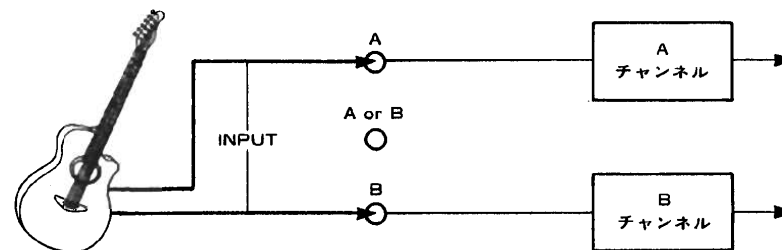
- ◆モノラル出力のギターを1本だけ接続して、各チャンネルで異なる音づくりをし、ミックスして鳴らす場合

- ・ギター: INPUTジャックの“A or B”に接続
- ・CHANNEL MODEスイッチ: “A/B”ポジションに設定(リアパネルにあります。)
- ・CHANNEL SELECTスイッチ: 使用しない



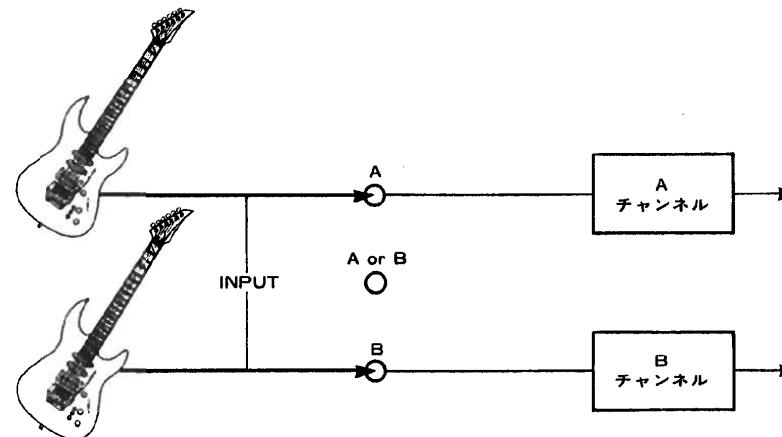
- ◆ステレオ出力のギターを1本接続して、各チャンネルでそれぞれの音づくりをして鳴らす場合

- ・ギター: INPUTジャックの“A”と“B”にそれぞれ接続
- ・CHANNEL MODEスイッチ: “A/B”ポジションに設定(リアパネルにあります。)
- ・CHANNEL SELECTスイッチ: 使用しない



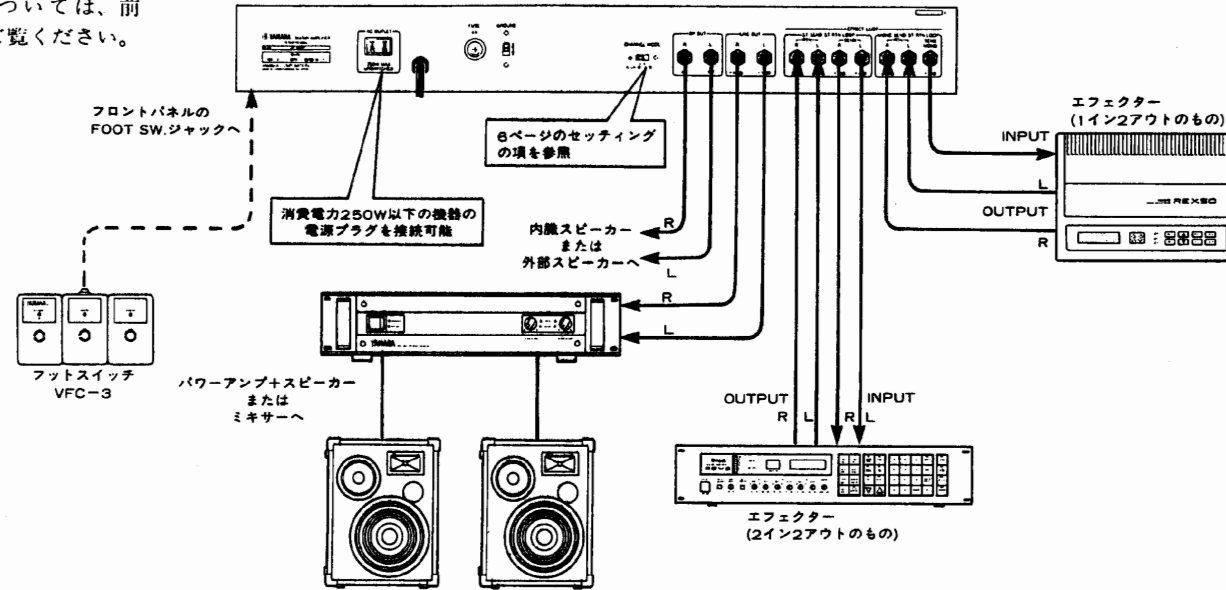
- ◆モノラル出力のギターを2本接続して、各チャンネルでそれぞれの音づくりをし、ミックスして鳴らす場合

- ・ギター: INPUTジャックの“A”と“B”にそれぞれ接続
- ・CHANNEL MODEスイッチ: “A/B”ポジションに設定(リアパネルにあります。)
- ・CHANNEL SELECTスイッチ: 使用しない



●接続例

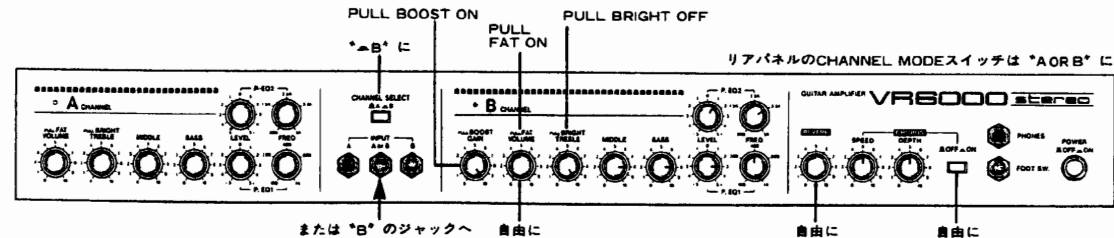
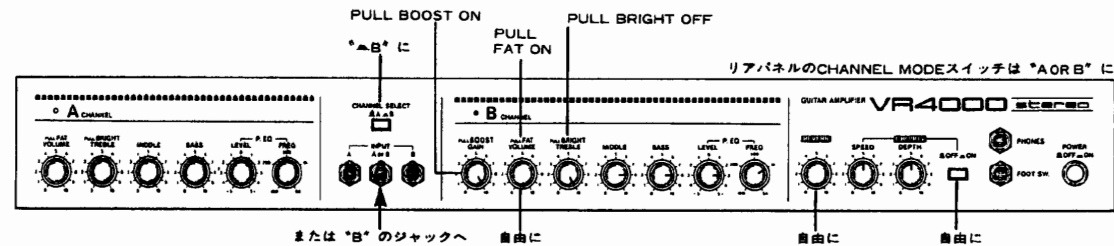
INPUT ジャックへの接続については、前ページのセッティングの項をご覧ください。



●セッティングサンプル

1. メタルサウンド

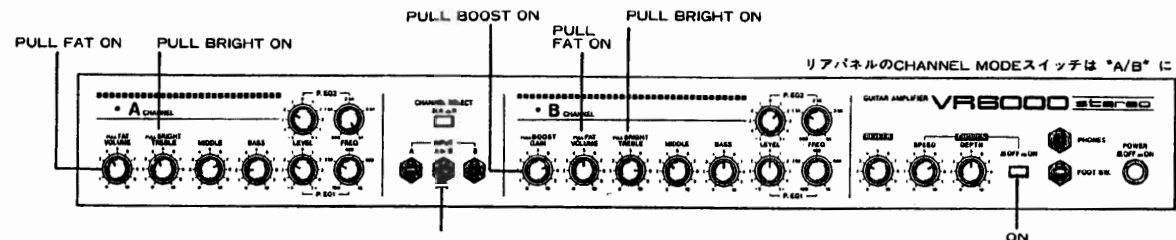
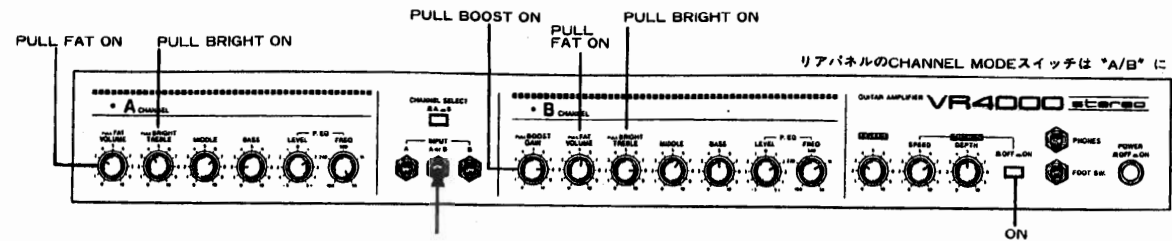
パンチとねばりのあるメタルサウンドです。音の立ち上がりをさらによくしたい場合はコーラスONに、ねばりのある感じでよい場合はコーラスOFFにします。簡単に言うなら、アメリカンロック派はON、ブリティッシュロック派はOFFというようになります。



2. ロックンロール

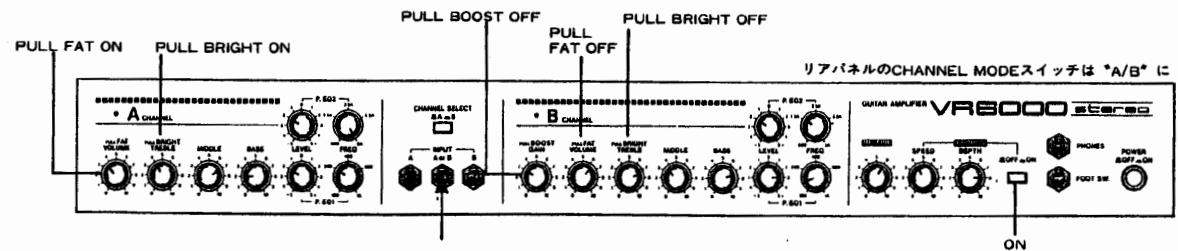
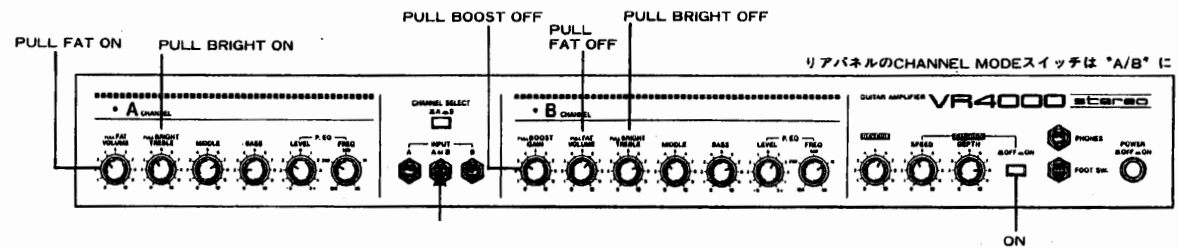
A and Bモードでのセッティングです。輪郭をはっきりさせるためAチャンネルで締まった音をつくり、Bチャンネルで少し歪んだ音をつくります。

そしてこの2つをミックスすることにより、腰のあるサウンドをつくり上げます。さらにコーラスをONにすることによりドライブ感を出します。



3. エレクトリックアコースティック

エレキギターのをエレクトリックアコースティックギター風に変えてしまうセッティングです。Aチャンネルできらびやかさを、Bチャンネルで深みとまろやかさを出し、ミックスします。そしてコーラスONで拡がりをつけて仕上げます。透き通った心地良いサウンドは、特にアルペジオに印象的です。



●仕様

型名	VR4000	VR6000
定格出力	25W + 25Wr.m.s. (8Ω, T.H.D.10%)	50W + 50Wr.m.s. (8Ω, T.H.D.10%)
スピーカー	25cm × 2(8Ω)	30cm × 2(8Ω)
エンクロージャー	後面開放型	
入力感度(1kHz) INPUT A INPUT B	-26dB(VOLUME最大) -42dB(GAIN最大,VOLUME最大)	
入力レベル EFFECT RTN	+4dB(47kΩ)	
出力レベル SP OUT LINE OUT EFFECT SEND PHONES	定格出力の項参照 -10dB(600Ω) +4dB(600Ω) 100mW(8Ω)	
ノイズ(IHF-A) Aチャンネル Bチャンネル	-42dB(VOLUME最大) -67dB(VOLUME最小) -21dB(GAIN最大,VOLUME最大, pull BOOST) -58dB(GAIN最小, VOLUME最大) -68dB(GAIN最小, VOLUME最小)	
Pull BOOST	+10dBアップ	
Pull FAT	400Hz基準, +10dBアップ	
トーンコントロール TREBLE MIDDLE BASS	5kHz基準, ±15dB可変 (Pull BRIGHT: +12dBアップ) 800Hz基準, ±10dB可変 80Hz基準, ±15dB可変	
パラメトリックイコライザー P. EQ FREQ P. EQ LEVEL	100Hz~5kHz可変 ±15dB可変	P. EQ1 100Hz~1kHz可変 P. EQ2 800Hz~5kHz可変 ±15dB可変
リバーブコントロール REVERB	リバーブ(スプリング式) 可変可能	

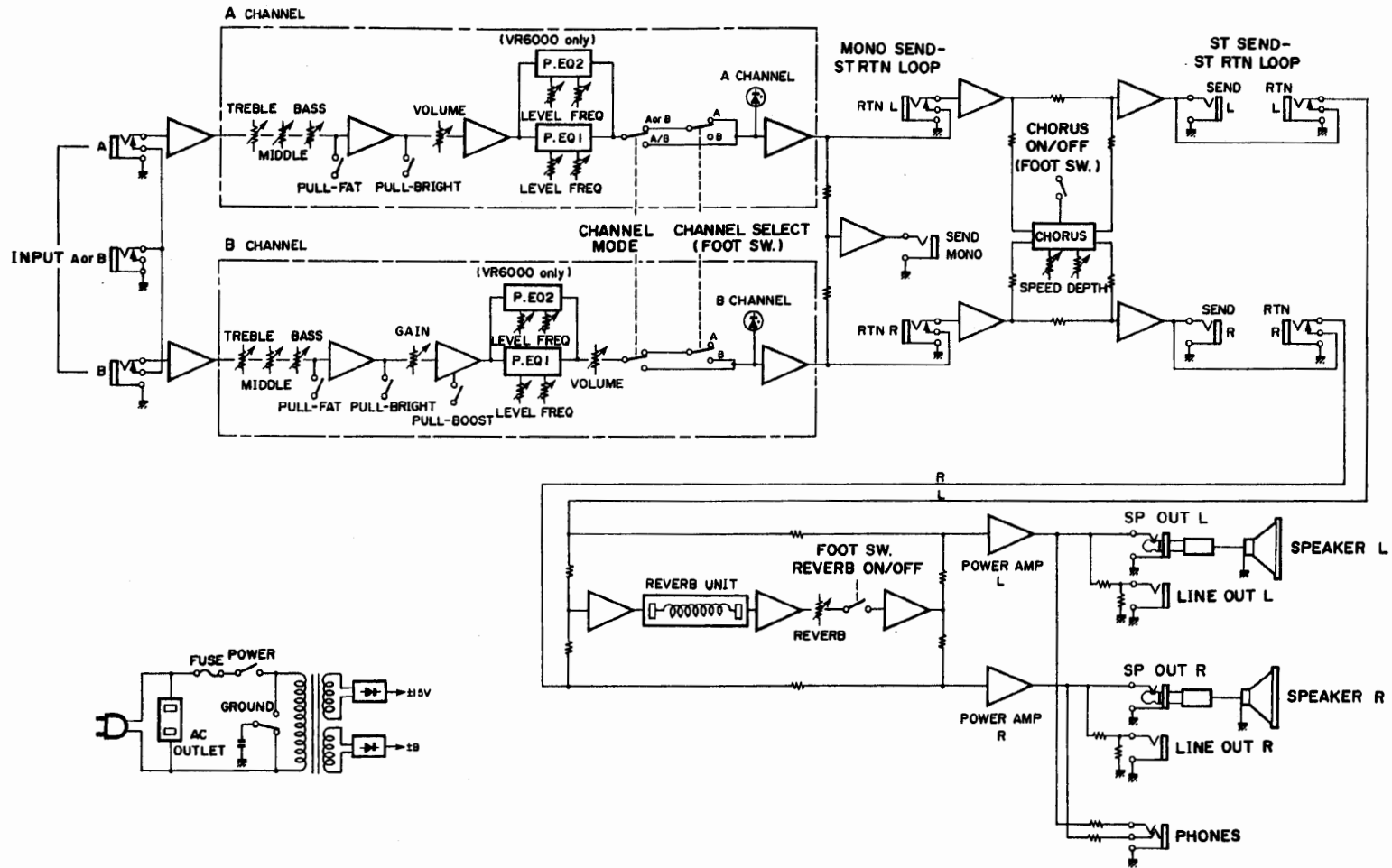
型名	VR4000	VR6000
コーラスコントロール CHORUS SPEED CHORUS DEPTH	(ステレオコーラスタイプ) 0.1Hz~7Hz可変 可変可能	
スイッチ	POWER ON/OFF, CHANNEL MODE, CHANNEL SELECT, CHORUS ON/OFF, GROUND	
電源	AC100V, 50/60Hz	
消費電力	55W	82W
寸法(W×H×D)*	729mm × 563mm × 275mm	
重量	22.6kg	26.0kg

* キャスター含む

・ 0 dB = 0.775Vr.m.s.

・ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●ブロックダイアグラム



●サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年で
す。(現金、ローン、月賦などによる区別はございませ
ん。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お
名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。
無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに
ご購入の日から向う1か年間の無償サービスをお約束
申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期
間中であつても実費を頂戴させていただくことになり
ます。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけ
ますように充分ご配慮のうえで保管してください。ま
た、保証期間が切れましてもお捨てにならないでくだ
さい。後々のサービスに際しての機種判別や、サー
ビス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店に
ご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。こ
の際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合に
はサービス料金を頂く場合もあります。又お買上げ
店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あ
るいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先に
おけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、
引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよ
う手続き致します。

満1か年の保証期間を過ぎますとサービスは有料とな
りますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。
なお、補修用性能部品の保有期間は最低
8年となっています。そのほかご不明の点などござい
ましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせく
ださい。

■YAMAHA 電気音響製品サービス拠点

(お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1194 TEL (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8(シルバークールビル2F) TEL (025) 243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新豊原下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸島町8-7(ヤマハ高松店内) TEL (0878) 51-7777、22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (ヤマハ名古屋流通センター3F) TEL (052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (082) 472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5丁目7(卸場共同配送センター3F) TEL (022) 236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区紙屋町西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-6711
本社 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-5195

ヤマハ株式会社 LM事業本部

サービス課	〒430 浜松市中区中沢町10-1 TEL (0534) 60) 2431
国内営業部	〒150 渋谷区道玄坂2-10-7 新大塚ビル3F TEL 03(475)1521
東京事業所	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL 03(574)8592
大阪事業所	〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋ブラザビル東館 TEL 06(252)5231
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL 052(201)5145
九州営業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL 092(472)2155
札幌営業所	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター TEL 011(512)8113
仙台営業所	〒980 仙台市大町2-2-10 TEL 022(222)6146
広島営業所	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL 082(244)3744

*住所及び電話番号は変更になる場合があります。